



平成 20 年 4 月 5 日

MFJ 公認競技主催者およびエントラント 各位

財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

GP-MONOの技術仕様 の解釈について

本年度より、GP-MONOのブリーザーシステムに関する規則について全日本選手権もてぎ大会での
査察により、以下のとおりの解釈を統一いたしますのでご案内いたします。
なお、この解釈の運用は、全日本選手権第2戦筑波大会から開始いたします。

1. ブリーザーシステム

該当規則

5-14-7-1	全ての車両はクローズドブリーザー・システムを採用していなければならない。 すなわちオイル・ブリーザー・ラインはオイル・キャッチタンク、およびエアクリーナー・ ボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。
----------	---

ブリーザーシステムの解釈

エアダクトを設けている場合は、エアボックスは密封されてなければならない。
事例：キャブレターとの連結部分等の密閉不足

該当規則

5-14-7-2	フレッシュエア取り込みのためのエアダクトの追加は認められるが、RAM 圧は禁止さ れる。 エアダクトの取り付けがなく、エアクリーナーボックスに直接孔を空ける場合は、 その合計が直径45mm相当の面積以下とする。
----------	--

フレッシュエア取り込みのためのダクトの取り付け位置

エアダクトの開口部は、カウルの内部にあること。
エアダクトの開口部は、ラジエターの先端（車両中心線上のラジエター位置）よりも前にあつて
はならない。

以上